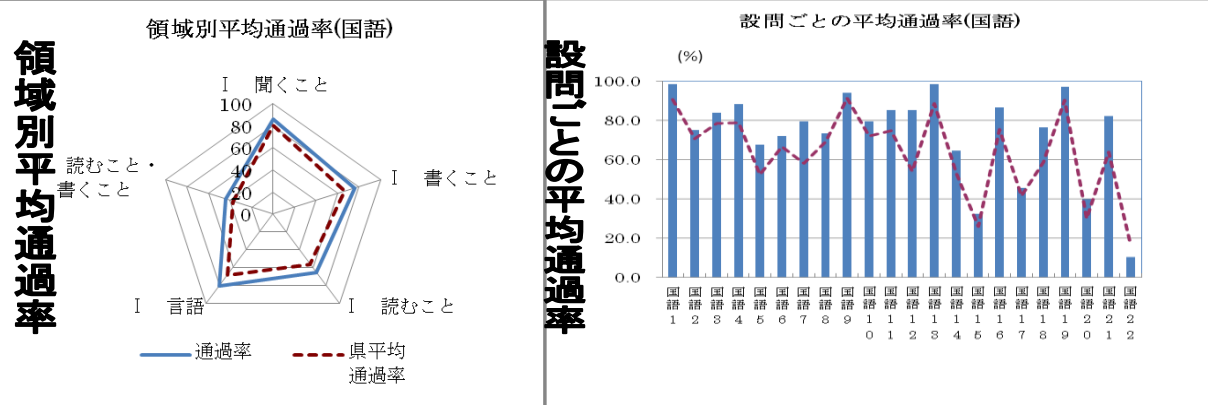


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 72.9%, 県 63.7%)



本年度の結果について

- 聞くことの領域については、通過率を80%以上超えている。しかし、読むこと・書くことの領域については60～70%台となっている。
- 特に、タイプⅡの「情報の取り出し・理由や事例を挙げた記述」に関する問題における通過率は10.3%となっている。非連続の資料から必要な情報を取り出す力や問題の中心となる事柄を読み取る力に課題が見られた。

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

【課題1】

文と文の意味のつながりを考えながら、叙述を基にして文章を正しく読む力に課題がある。◎段落相互の関係を把握する設問は通過率64.7%, ◇人物像について捉える設問で通過率61.9%, ◎文の中心となる語や文を把握する設問は、通過率32.4%である。

【課題2】

文章を読み取り、要点をまとめる力に課題がある。情報を取り出し関連付けたり理由をつけたりする力が不足している。◎目的に応じて文と文の意味のつながりを読み取る設問では、通過率44.1%である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

接続詞(「まず、では、つまり、また」など)や文末の言葉、指示語(「その他にも、それ」)をポイントに文章を読み取ることを指導する。そして、キーワードになる言葉を把握することや指示語が指す内容を理解できるようにすること、筆者の意図を伝えている段落はどこかなど、解くために必要な技能を身につけさせる。また、情報を取り出すための条件をつけた問題を提示して、初めて読む文章の問題でも解答できるよう指導を積み重ねる。

【課題2】

説明文の教材では、本文のキーワードは何かを授業の中でおさえること、キーワードを使って要約文を書くことを指導する。条件に合った文章を書いたり、キーワードを使って要約文を書いたりすることを繰り返し指導する。

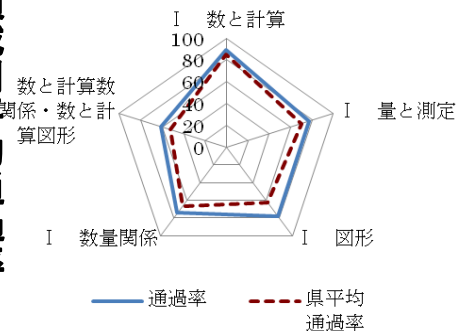
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	2～4年 事柄の取り上げ方や説明のしかたの工夫を読み取る		5年生説明文 単元末テスト		熊野町標準学力調査	4年生 H28「基礎・基本」調査	
目標値	80%		85%		75%	75%	
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			4年生説明文 単元末テスト		熊野町標準学力調査	5年生 H28 全国学力調査	
目標値			80%		75%	75%	
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 76.5%, 県 69.4%)

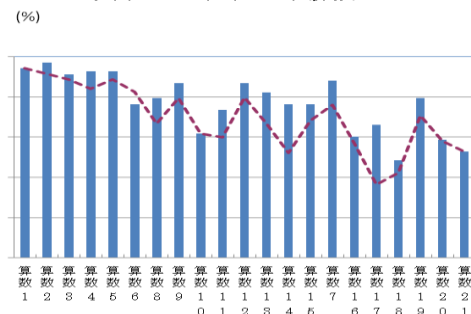
領域別平均通過率

領域別平均通過率(算数)



設問ごとの平均通過率

設問ごとの平均通過率(算数)



本年度の結果について

○タイプⅠは81.6%, タイプⅡは60.3%の通過率となっている。タイプⅠでは、数と計算の領域において通過率が88.9%であり、定着が図られている。タイプⅡでは、数学的な考え方を問われる問題に課題のあることがわかった。

○昨年度は数学的な考え方を問う問題で課題が見られた。提示された複数の資料から必要な情報を取り出し、それを関連付けて情報を整理し、説明することに課題が見られた。そこで、「情報を収集する力」と「必要な情報だけを取り出す力」を養うために、問題文や資料に書き込んだり、アンダーラインを引いたりして収集した情報を図や式に表し、答えを導き出す経験を積ませた。さらに、1つの情報からもう一方の情報へと、複数の情報を関連付けて考える課題に多く取り組ませた。その結果、問題文や資料に書き込んだり、アンダーラインを引いたりすることができる児童が増えた。

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査 ◇全国学力・学習状況調査

【課題1】

折れ線グラフと棒グラフを関連付けて考察することに課題がある。◎解答類型ごとの反応率によると、ゆうこさんの言葉の意味を理解できていない児童が35.3%である。(設問全体の平均通過率47.1%)

【課題2】

硬貨の種類と枚数を比較し、一方の支払いの方が、おつりの枚数が少なくなる理由を適切な言葉と数を用いて説明することに課題がある。◎解答類型ごとの反応率によると、問題場面をイメージできない、またはイメージできても言葉に表せない児童が27.9%である。◇割合の意味理解に関する設問の通過率は74.6%である。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

- ・2つのグラフを比較し説明するときは、書き方の順序があることを理解させる。
(例) ①～のグラフからは、～であることがわかる。②もう一方のグラフからは、～であることがわかる。③2つのグラフを比べてみると～であることがわかる。④だから、～であると言える。
- ・かがやきタイムや社会科の資料などを活用して、類題を多く取り上げ経験させる。

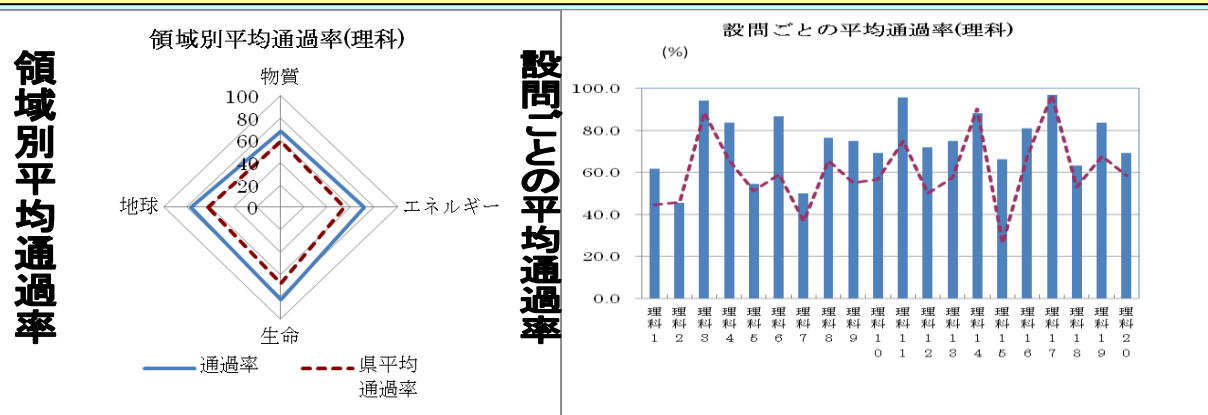
【課題2】

- ・2つの数量を比較し説明するときは、書き方の順序があることを類題を通して理解させる。
(例) ①～の方は、～である。②もう一方の～は、～である。③～と～を比べてみると～である。④だから、～の方が～であると言える。
- ・低・中学年で、買い物の模擬体験ができる授業を仕組む。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	5年生 復習テスト	6年単元末テスト 拡大と縮小			熊野町標準学力調査	3年単元テスト 「表とグラフ」	4・5年生 学年末テスト
目標値	60.0%	80%			80%	80%	80.0%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年・論理的説明力に 関する評価問題				熊野町標準学力調査	4年 H28「基礎・基本」調査	3・4・5年 学年末テスト
目標値	60%				80%	80%	85%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 74.1%, 県 60.6%)



本年度の結果について

○全体的な傾向 (タイプ I, II の状況, よい領域はどこか) について

- ・タイプ I においては, 通過率 79.6% であるが, タイプ II においては, 63.9% と通過率が低い。その要因として考えられるのは 1 つ目が, 複数の資料を提示されたときに整理して把握することができていない。2 つ目は, 生活と結び付けて体験活動をする機会が少ないことがあげられる。
- ・生命の分野の通過率は, 82.4% で, 身近なものとして捉えていると思われる。

重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

【課題 1】
重さと体積の関係を正しく理解していない。(設問全体の平均通過率 45.6%)

【課題 2】
物質の磁石に反応したりしなかったり, 電気を通したり通さなかったりする性質を複合的に考えることができない。(設問全体の平均通過率 69.1%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】
・体積が同じでも重さがちがうことがわかっていないので, 具体物を通して体験活動を行う。

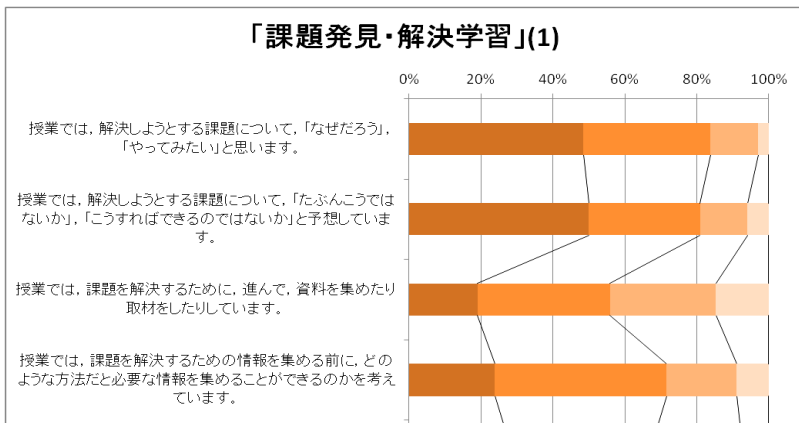
【課題 2】
・各単元のまとめの時に性質をしっかりとおさえる。
・物質の性質 (磁石につくものつかないもの, 電気を通すもの通さないもの) の理解ができていないことが考えられるので, 2 つの単元が終わったときに, 物質の性質をしっかりと整理して, 体験活動を意図的に取り入れた授業を行う。

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					熊野町標準学力調査	4年 H28 「基礎・基本」調査	
目標値					80%	75%	
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法					熊野町標準学力調査	3年生単元テスト 「明りをつけよう」	3~5年生 学年末テスト
目標値					80%	80%	85%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

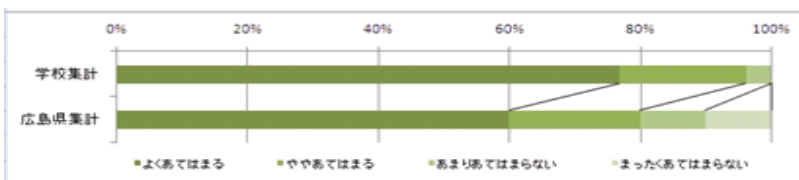
(1) 生活・学習



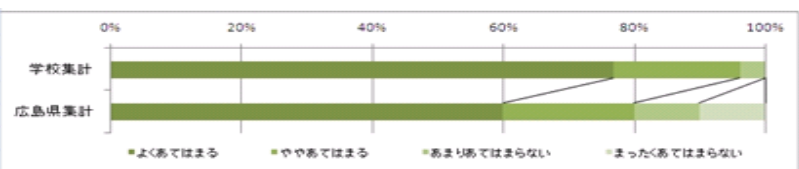
児童の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
◎課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりすること。(肯定的回答55.9%)	課題解決の場面で資料を複数準備し、児童が資料を選択して課題解決できるようにする。	5	70%	児童アンケート	11月		

(2) 教科

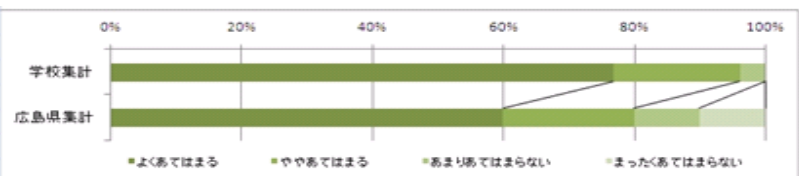
国語の授業では、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり話の中心を考えながら聞いたりしています。



算数の授業では、式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりしています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしています。



	児童の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	◎伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり話の中心を考えながら聞いたりすること。(肯定的回答66.2%)	結論先行型の話し方や、ナンバリングによる話し方を繰り返し指導したり、友だちの発言を聞いた後に発言者の言いたかったことを説明させたりする。	5	75%	児童アンケート	11月		
算数	◎式が何を表しているのかを考えたり、式に当てはまる問題を作ったりすること。(肯定的回答69.1%)	立式の理由をノートに書かせたり、式に当てはまる問題作りに取り組みせたりする。	5	75%	児童アンケート	11月		
理科	◎自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりすること。(肯定的意見72.1%)	予想や、結果から考えたことをペアやグループで交流させる。	5	80%	児童アンケート	11月		